

# 社内報

第32号 発行日 平成25年1月31日

# 深 緑

創刊：平成20年1月31日  
発行所：大成運輸株式会社  
編集：運行管理部

## 社長のコラム

皆さん、明けましておめでとうございます。

2年間「水戸黄門」していましたが、新たに「暴れん坊将軍」の気持ちで頑張りたいと思います。

今年の話の前に、まず昨年の実績について報告をいたします。

売上は、35億円に1千万円位の不足。

外注分や倉庫の収入を除くと、自社の運送部門だけでは 約30億円。

残った利益は、約600万円です。

(黒字化は非常に困難と思っていましたが、「減価償却費」と云って、主に車両の 価値の目減り分が、引当した金額より予想以上に少なかったので達成できました。)

単位が大きいので、家計に例えれば、  
月収25万円の家庭で1年間生活して、6千円残りまじつたという感じです。

それと、昨年末になりましたが、事故で一度取り消しになっていた「Gマーク」を再取得することができました。  
トラック全事業所の中で、前向きに取り組む30%の仲間入りできました。

さて、今年目標ですが、  
売上等の数字の目標はあえて設定しておりません。  
今年一番の課題と目標は「組織作り」とします。  
「組織」と言われてもピンとこないし、今のままじゃダメなん？ で、説明を。

今、大成運輸という運送会社は240台で300人の規模ですね。  
周りの運送会社を見ればわかると思いますが、20台以下の規模が全体の80%を占めており、大きな会社でも30~50台位の規模だと思います。

(ちなみに、200台以上の事業所は全国で約300事業所。シェアで0.5%です。)

何でこんなに小さいところが多くて、大きい運送会社が少ないのかわかると言ったら、人をまとめていくことの問題で、20人位までが一番まとめやすく、多くても30人とか50人とかが目一杯なんですね。

今までは、皆さんの素敵な仲間意識と造ってきた良い風土に頼って何とか維持することができていましたが、大きく変化し続けている外部環境に抗しきれなくなっています。

特に当社は、多種多様のお客様に、多種多様なサービスを提供する方向へ向かっているの、なおさらです。

まず形としては、30台規模の運送会社が8社集まった様なグループ分けをしていきます。今回はたちまちで5グループにしか分けられておりませんが、順次分割していきます。

次に、リーダーについて。  
30台規模をまとめられる社長のような人材を、8人据えなければなりません。これは、会社の落度で育成できておりません。  
今回の配属は、これからの可能性を考慮して見える範囲の中で選抜しています。

技量の不足は、会社・当人共に重々承知しています。  
皆さんには、何とか「ゼロベース」で協力をお願いします。  
リーダーが成長すれば、皆さんも楽になります。

<中略>

この後に、事故で息子さんを亡くされた山本さんの講演がありますが、私が大成運輸の社長になって一番したくないことは、皆さんの葬式に出ること。  
次にしたくないのは、皆さんが起こした事故の相手の葬式に出ること。

(講演後に再認識しましたが、自分の都合だけで勝手に他人の運命を変える権利はありません。)

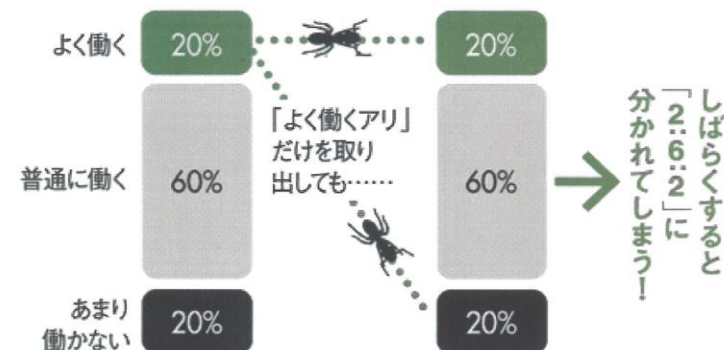
<中略>

厳しい言葉ばかりで、大変恐縮でしたが、

今年も 1年 宜しくお願いします。

### 「働きアリの法則」について

#### 「2:6:2」に分かれる「働きアリの法則」



「輸送品質」についても同じように当てはまります。

例えばSDカード。

全国の運送会社のSDカードの取得率は、約80%。

この数字は、80%の人達が作った数字ではなくて、残りの20%の人達が作った数字です。(当社の取得率は現在 85.2%)

で、お客様から要求される輸送品質は、下からの20%の人達のレベルを見られて判断されるのです。

全員がハードルを越えられる様になりましょう。